

春号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和7年7月13日(日)10:00～12:00

場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール

定員：20名

内容：エコ教室 テラリウムづくり

受講料：1,100円

募集期間：令和7年6月20日(金)9:00から
令和7年6月29日(日)17:00まで

申込方法：電話・メール・FAX又は窓口で受付

定員を超えた場合は抽選となります。

【みどり講習会】*受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

日時：令和7年4月27日(日)10:00～12:00

内容：樹木の植え方、水やり

日時：令和7年5月25日(日)10:00～12:00

内容：庭造りのポイント

日時：令和7年6月22日(日)10:00～12:00

内容：夏の手入れ方法

*樹木医による園芸に関する講座です。

急に気温が高くなり植物もそれまでのモノトーンの世界から芽を伸ばし葉を広げまた花を咲かせ一気に多色の景色に代わってきました。日差しも強くなり植物はその光を取り込んで成長していく時期です。戸外で緑を楽しむことができる楽しい季節となりました。出かけてみませんか？



My ガーデニング ……季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

寒い時季の厄介な水やりからようやく解放されました。この頃は定期的に降雨もあり庭植えの植物の場合は少なくともすみますね。ですが鉢植えの場合や植え替えて間もない場合は、土の量も根の状態も限られますので乾いたらたっぷりとあげます。この時季の植物は特に水分を必要としています。

【植替え】

落葉樹は既に適期は終わっています。無理をして行くと弱ったり枯らしてしまうこともあります。常緑針葉樹も終わりに近づいています。どちらも秋まで待たばうが無難です。常緑広葉樹は芽が伸び始めようとしている時が適期です。急いで行いましょう。

しかし芽が伸び葉を広げてからでは既に遅すぎます。梅雨の時期まで待ちます。ただ鉢植えの物を植えこむことは大丈夫です。

【肥料】

寒肥をあげましたか？もしまだなら緩効性有機質肥料をあげてみてください。ツツジ類などの場合は花後にお礼肥えとしてあげてください。その後の芽の吹きが違います。草花などを植えこむときには前もって元肥や堆肥などを混ぜ込んで準備しておくことが大事ですね。

肥料はただあげれば良いというわけではありません。その植物によって成分や量が決まってきます。時期も重要となってきます。あげたことがかえって逆効果ということもあるのです。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。カエデ類やバラなどには春先にアブラムシ類が発生しやすいですね。早めの殺虫剤散布が大切です。ただし葉が柔らかいうちは葉害も出やすいので注意が必要です。サンゴジュやヒイラギモクセイの開いたばかりの柔らかい葉がハムシの被害にあって茶色く食べられて弱っているのを見かけます。被害が出てからでは遅すぎますので早めの薬剤散布が効果的です。オルトラン液剤などの薬液が葉についているとハムシの被害は相当防ぐことができます。



庭に植えられているマツも枯れているのを見かけます。多くがマツノマダラカミキリとそれに寄生しているマツノザイセンチュウが原因となっています。このカミキリムシは5月頃から飛び始め被害を拡大しています。ある程度防ぐのには前もっての薬剤散布しかありません。管理を適正に行い樹勢を弱らせないでおくことも大切です。

これからはイモムシ類も多く発生します。日頃からよく観察して早く対処してください。

【剪定】

落葉樹は芽が固まってから先端部を切り詰めるくらいの弱い剪定にしておきます。ヒバなどの針葉樹の刈込には向いています。刈り込まれた後は茶色に変色して見栄えが悪くなりますが、すぐに新芽が吹いてくるのできれいな状態に戻ります。マツはゴールデンウィーク頃からみどり摘みを行います。みどり摘みとは今年伸びた新梢を付け根や途中から切り詰めることです。マツの管理では重要な作業になります。これを行っていただいてもきれいな樹形を保つことができます。マツの剪定は大変だと思っている方が多いかもしれませんがそんなことはありません。

常緑広葉樹はこれからが適期となります。強い剪定も可能ではありますが樹勢を弱らせてしまうのでほどほどにしておいてください。また幹が直接に日光が当たると幹やけを起こしてその側だけが枯れてしまいこともあります。先端やふところの弱っている枝などを整理しただけでもきれいになります。さっぱりしたのと綺麗な樹形になったのは意味が違いますよ。ポタン、シャクヤク、シャクナゲ、ツツジなどは開花後に花柄を摘むようにしてください。実がつかないようにして弱ることを防ぎます。

*** 風の被害**

先月末の暴風は郡山市では観測史上もっとも強かったようです。皆さんの所では大丈夫でしたか？木が倒れたり枝が落ちたりした危険な状態でした。これを少しでも防ぐためには幹や枝の腐朽を確認しておくことです。そのような場合は切っておくか支柱の設置が必要です。また日ごろから剪定を行い風の抵抗をなるべく受けなうようにしておきます。

【夏越し】

植物によっては強い日差しが苦手なものもあります。ハナカツミ（ヒメシャガ）やクリスマスローズなどもそのような部類です。そのような植物は強い西日を避け木漏れ日が差し込むような環境にしてあげます。落葉樹の下のようなところがベストなのですが、無ければ遮光ネットを使って光を遮りそのような環境を作ってあげます。

【現在のハナカツミ】

間もなく葉の間から花茎が伸びてきそうになってきました。これからは強い日差しを嫌いますので半日陰の所に置き、夏場は高温乾燥から守ります。

